

年度:2019年 LOM番号:556

【褒賞申請書】

事業名称	二本松少年隊顕彰授業～座学で学ぶ郷土愛と命の尊厳～
カテゴリー	最優秀LOM長期型地域開発プログラム部門

申請LOM	東北地区福島ブロック公益社団法人二本松青年会議所
LOMの人数	30名
理事長名	渡辺 聡
担当者名	吉田 明弘
担当者携帯番号	090-9535-9350 担当者E-Mail ay@yoshida-setubi.co.jp
事務局住所	福島県二本松市本町 1-60-1
事務局TEL	0243-22-0556 事務局FAX 0243-23-0557

本事業の参加者	会員数	28名
	関係者数	28名
	一般参加者数	二本松市内小学校16校の6年生 合計476名
事業実施に至る背景 400文字程度	現代の日本では多くの命が失われる戦争はありません。しかし、近頃いじめや自殺、家族間の殺人など悲惨なニュースがありました。このまちに安心して暮らす上で、郷土愛や命の大切を学ぶ必要があります。そこで、信義を貫いて戦った二本松少年隊は、ふるさとを守り抜くために命をかけて戦ったという歴史から二本松少年隊の健気な想いにしっかりと向き合う事も後世の人間にとって大切なことと考えます。子供から大人になるまでの過程で何を学び、何に価値を置き、何を大切にするのかを今後二本松を担う子供たちに伝えるために二本松少年隊顕彰授業から一人ひとりが郷土を愛する心、心から命の大切さ、生きる喜びを感じてもらいたいと考え事業の実施に至りました。	
事業目的 400文字程度	〈対外〉 ・地域の特性や長所を理解し、故郷に対する愛着を持ってもらいます。 ・二本松少年隊の史実から、隊士や家族の思いを考え、命の大切さ、夢や希望を持つことの大切さを学んでもらいます。	

	<p><対内></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を通し交流を図ることで、地域の子どもたちとの繋がりを深めます。 ・貴重な学校の授業時間を使用して行う事業であるということを理解し、青年会議所の運動が重要な役割にあることを学びます。 ・二本松少年隊の史実を理解し、郷土愛と命の尊厳を伝えられる人材となります。 									
<p>SDG'sの該当項目</p>	<p>4. 質の高い教育をみんなに 11. 住み続けられるまちづくりを</p>									
<p>事業概要</p> <p>400文字程度</p>	<p>二本松市には「二本松少年隊」という地域の宝があります。</p> <p>戊辰戦争の時代、大人の武士が不在だった二本松城が新政府軍の侵攻に見舞われ、12歳から17歳の子どもたちが戦に出ることを志願し、そのうちの十数名が命を落としました。この悲劇を二本松市民は「二本松少年隊」と呼称し、後世に伝えています。</p> <p>当LOMでは、子どもたちに二本松少年隊の史実を伝えながら、彼らの行いの根源となった郷土愛について教え、地域に愛着を持つこと、長く生きられなかった二本松少年隊から命の大切さを学ぶこと、夢と希望を持つことの大切さを説く事業を行っています。</p> <p>約1ヵ月かけて16校の全小学校に赴き、メンバーが講師を務め45分の授業をします。PPTの視覚資料を用い戊辰戦争や二本松少年隊の起こりを説明し、郷土愛の大切さに繋げていきます。また、過去の事業で作成した二本松少年隊紙芝居にメンバーが声を吹き込んだ動画を流し、グループワークを行って二本松少年隊が戦いに出た理由や地域のためにできることなどを話し合い、発表して頂きます。最後に「二本松少年隊アンバサダー認定証」と「二本松少年隊ステッカー」を渡します。</p>									
<p>開催期間・ タイムスケジュール</p>	<p>2018年5月7日(月)から2018年6月19日(火)</p> <p>1時間授業(45分間)</p> <p>授業開始30分前 メンバー集合、校長先生と担任に挨拶</p> <p>授業開始10分前 教室へ移動</p> <p>授業タイムスケジュール</p> <table border="1" data-bbox="592 1697 1406 1989"> <thead> <tr> <th>経過時間</th> <th>実施時間</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10分前</td> <td>10分</td> <td>記入用紙、アンケートの事前配布確認、PCとモニター等の接続確認</td> </tr> <tr> <td>0分</td> <td>2分</td> <td>自己紹介・趣旨説明</td> </tr> </tbody> </table>	経過時間	実施時間	授業内容	10分前	10分	記入用紙、アンケートの事前配布確認、PCとモニター等の接続確認	0分	2分	自己紹介・趣旨説明
経過時間	実施時間	授業内容								
10分前	10分	記入用紙、アンケートの事前配布確認、PCとモニター等の接続確認								
0分	2分	自己紹介・趣旨説明								

	<table border="1"> <tr> <td>2分</td> <td>6分</td> <td>時代背景、 二本松少年隊の説明</td> </tr> <tr> <td>8分</td> <td>10分</td> <td>紙芝居鑑賞</td> </tr> <tr> <td>18分</td> <td>5分</td> <td>郷土愛と命の尊厳の説明</td> </tr> <tr> <td>23分</td> <td>10分</td> <td>グループディスカッション</td> </tr> <tr> <td>33分</td> <td>5分</td> <td>発表</td> </tr> <tr> <td>38分</td> <td>3分</td> <td>アンケート(記入後回収)</td> </tr> <tr> <td>41分</td> <td>3分</td> <td>まとめ</td> </tr> <tr> <td>44分</td> <td>1分</td> <td>二本松少年隊アンバサダー認定式</td> </tr> <tr> <td>合計45分</td> <td></td> <td>片づけ・退室</td> </tr> </table>	2分	6分	時代背景、 二本松少年隊の説明	8分	10分	紙芝居鑑賞	18分	5分	郷土愛と命の尊厳の説明	23分	10分	グループディスカッション	33分	5分	発表	38分	3分	アンケート(記入後回収)	41分	3分	まとめ	44分	1分	二本松少年隊アンバサダー認定式	合計45分		片づけ・退室
2分	6分	時代背景、 二本松少年隊の説明																										
8分	10分	紙芝居鑑賞																										
18分	5分	郷土愛と命の尊厳の説明																										
23分	10分	グループディスカッション																										
33分	5分	発表																										
38分	3分	アンケート(記入後回収)																										
41分	3分	まとめ																										
44分	1分	二本松少年隊アンバサダー認定式																										
合計45分		片づけ・退室																										
開催場所	場所: 二本松市内小学校16校 会場: 各小学校が指定する教室																											
事業区分	継続																											
公益・共益区分	公益事業																											
事業総予算・収支	予算計: ¥68,000- 支出計: ¥62,284-																											
協力団体	共催	無し																										
	協賛	無し																										
	後援	二本松市教育委員会																										
	その他	二本松市内小学校																										
事業対象者	<対外対象者> 二本松市内小学校16校の6年生(一部5年生)																											
	校名	予定人数	参加人数	参加率																								
	二本松南	45	45	100%																								
	二本松北	64	64	100%																								
	塩沢	16	16	100%																								
	岳下	32	32	100%																								
	安達太良	3(5年生7)	3(5年生7)	100%																								
	原瀬	13(5年生2)	13(5年生2)	100%																								
	杉田	46	46	100%																								
	石井	25	25	100%																								
	大平	16	16	100%																								
	油井	68	68	100%																								
	渋川	25	25	100%																								

川崎	19	19	100%
小浜	37	37	100%
新殿	11	11	100%
旭	14	14	100%
東和	33	33	100%
合計	476	476	100%

行動
(ACTION TAKEN)
400文字程度

(事業の調査、立案、会議の流れ、実施活動、事業後の活動について記入)
 継続事業として5年目を迎えております。近年、青少年の自殺・いじめ・動物の虐待など命を粗末に扱うニュースがメディアで伝えられており、地域の資源である幼くして命を落とした二本松少年隊を題材に、これらの問題解決に繋がればということを実施に至りました。また地方の問題である人口流出にとっても、郷土愛を伝えることで、Uターンにより歯止めを繋げるべく計画しました。教育委員会への後援依頼文を作成し、教育長と面談の上、後援を取り、教育委員会から全小学校へ事業案内文を配布。また、教育長より参加推奨していただくように併せてお願いをしました。参加いただく学校とは事前打ち合わせ資料を使用して授業日時等の打合せ、会場下見をしました。昨年使用した授業資料を見直し、修正を加え、より受け入れられやすいシナリオやPPT資料を作成しました。メンバー対象の事前説明会で、メンバーが講師を務められるように講習を行いました。事業後には学校に対し礼状配布と同時にアンケート回収を行い、事業の効果を検証します。

結果
(RESULT)

(目的がどのくらい達成できたか、上記の結果の想定外の結果、結果の確認方法、検証結果を箇条書きで記載)
 小学生の参加率は100%で、市内全校の対象者に顕彰授業を行うことができました。
 結果の確認方法…児童へのアンケート。担当の先生のお話。
 検証結果…
 ◆「命は大切だと思いますか」の質問に対し99.8%の児童が「思う」と回答。「命は誰でも一度きりしかなく、やり直せないから」「世の中には生きてくても病気などで生きることのできない人もいるから」等の理由
 ◆「ふるさと好きですか」の質問に対し97.3%の児童が「好き」もしくは「少し好き」と回答。「雪が多いけど自然が豊かだから」「自分が生まれた大切なふるさとだから」「優しい人達がいるし、大切な思い出があるから」等の理由。

	<p>◆「自分たちがふるさとのためにできることはありますか」の質問に対し79.5%の児童が「ある」と回答。具体例として「ゴミ拾いなど環境を守る」「二本松市のPR」「イベントに参加する」といった回答。</p> <p>◆「二本松の良いところ、悪いところをもっと知りたい」「この授業から命の大切さ、戦争の残酷さがわかり、生きることを大切にしないといけないと思った」等の意見が多数寄せられた。</p> <p>◆何人かの先生から来年もぜひやってほしいとの声があった。</p> <p>以上のことから、目的に達することができたと考えます。</p>
<p>地域社会への影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業が与えた地域社会への影響を記入)</p> <p>地域の未来を担う子どもたちに郷土愛を醸成する機会を創出したことにより、地域に対する誇りをもち、地域に興味を持つことによつて就職する際に県外への人口流出の防止やUターンに繋がることができ、地域活性化や雇用の創出に繋がると考えます。そして住民自らが地域をよくしようという意識を持ち、地域の事を考えられる大人に成長し、個人の幸せを求め生き方から地域貢献という考えにステップアップする人材の創出に繋がると考えます。</p> <p>さらに、命の大切さを学んだことで、自分の命を大事に夢や希望を持って生きられるようになり、他人にも同じ命があることを理解し、優しく人を労れる人間への成長に繋がりが、いじめ、ひきこもり、自殺といった社会問題の解決に繋がると考えます。</p>
<p>LOMへの影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業がLOMに与えた影響を記入)</p> <p>顕彰授業後のメンバーアンケート集計結果及び一連の事業を通して以下のことがわかりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッションの際に、子どもたちと意見を交わしてもらう事で交流を深める事ができたこと。 ・貴重な学校の授業時間を使用して行う事業であるということを理解し、青年会議所の運動が重要な役割にあることを学んだこと。 ・事前講師説明会及び、紙芝居、PPT資料を通して二本松少年隊に関する知識や道徳心への理解を深め、郷土愛と命の尊厳を伝えられる人材となったこと。 <p>メンバー自身が郷土の事を学び、人に伝える過程で郷土に対する誇りが醸成され、効果的なプレゼンテーションのスキルが身につくと考えます。</p>
<p>事業の長期的な影響</p>	<p>(この事業の期待される長期的な影響を記入)</p>

400文字程度	<p>継続事業として5年目を迎えております。今後も継続すべき事業だと考えます。なぜなら、毎年小学6年生に授業を行うことで、いつの日かほとんどの市民が郷土愛の大切さ、命の尊さを学ぶことになるからです。</p> <p>このような取り組みを継続的に行うことにより、人口流出や地域活性、健全な地域社会の創出に繋がると考えます。</p>
<p>考察や推奨</p> <p>400文字程度</p>	<p>(検証を踏まえた次の行動を記入)</p> <p>顕彰事業を受けた後の子どもたちの行動がどのように変化するかしないのか、フォローアップ検証はできていません。授業を受けたその先の目的として、人口減少が課題である地域にとっては郷土愛を持ち、地域に定住してもらうことも視野に入れることも重要なことです。顕彰授業はそのための手段の1つと捉え、魅力ある地域であることを目的として、統括的な事業の構築を検討する余地は大いにあります。顕彰授業を一過性のもので終わらせず、継続事業として5回目を向かえた今、さらにその先の未来へ向けた事業への取り組みが地域にとって大事なことだと考えます。</p>
改善点	<p>(改善点があれば記入)</p> <p>班数が多い場合にディスカッション用紙裏面の各班が記載するメモ欄に書ききれない学校があったので、班の部分を消して項目ごとにメモしてもらうようにします。</p> <p>生徒の名簿をエクセルで作ってもらう際に、データにプロテクトがかかっていたため文字化けしました。各学校との事前打ち合わせの時にPCを持っていき、受け取る際に確認するようにします。</p> <p>アンケートを市の回収ボックスを利用し回収しようとしていましたが個人情報・責任がもてないなどの理由で使用できませんでした。今回は比較的会議所から遠い東和・新殿・旭小学校3つを郵送、他の学校はメンバーが手分けしてアンケートを回収しました。全て回収に伺っても良いかもしれませんがメンバーの負担を減らすのであれば郵送も良いと思います。</p>
<p>JCI活動計画の推進</p> <p>JCI VISION活動計画の推進</p> <p>JCI MISSION活動計画の推進</p>	<p>(事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入)</p> <p>JCI活動計画の推進</p> <p>顕彰事業は子どもたちへの影響力、学校関係者とのつながり、会員メンバー同士の協力について推進できたと思います。</p> <p>継続して事業を行うことで、事業目的を学んだ市民が毎年4百数十名ずつ増えていくことは、地域の明るい将来を築く第一歩であると考えます。</p> <p>JCI VISION活動計画の推進</p> <p>顕彰授業を受けた子どもたちが事業目的を行動に移すことは検証しにくい事業ですが、少なくとも授業を受ける前と後ではアンケート結果から分かるように地域に向き合う意識を持つことで、行動的市民の醸成に役立つことを期待して運営しております。</p>

	<p>JCI MISSION活動計画の推進</p> <p>学校関係者との連携は必須であり、また、子どもたちとの良好な関係を保ちながら授業運営を行わなければなりません。さらに、自らが少年隊の知識を深めた上で子ども達に向けて授業の講師を務めることは、分かりやすいプレゼンスキルを磨くことができるため、顕彰事業は成長と達成感を得られる絶好の機会です。</p>
<p>添付資料 PDF資料2MB、5ページ以内</p>	<p>(事業風景の写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)</p> <p>写真、新聞記事、小学校ホームページ、小学生アンケート抜粋</p>

<キャッチコピー等> 座学で学ぶ郷土愛と命の尊厳

<事業名> 二本松少年隊顕彰授業

公益社団法人二本松青年会議所は2018年5月7日(月)から2018年6月19日(火)にかけて「二本松少年隊顕彰授業」を二本松市内小学校16校にて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この「二本松少年隊顕彰授業」は少年隊顕彰授業を子どもたちに行うことで、地域の特性や長所を理解してもらい、さらに故郷に対する愛着を持ってもらうこと、そして、二本松少年隊の史実から、隊士や家族の思いを考え、命の大切さを学んでもらうことを目的として開催されました。

授業を通して子どもたちが自分の住まうまちの良いところを考え、友達と意見を共有し、自分では気づかなかったことをグループディスカッションでよく学んでもらいました。また、隊士が生きた時代背景や、戊辰戦争で隊士がなぜ戦ったのかをPPT資料と紙芝居映像を通して隊士や家族の思いを考え、命の大切さをよく理解してもらえました。さらに、学校関係者からは来年も是非お願いしたいと強い要望がありました。そういったお声や授業を受けた子どもたちのアンケート結果から、目的を達成する事ができた事業となりました。

<二本松少年隊顕彰授業>とは？

詳細な事業内容

期日：2018年5月7日(月)から2018年6月19日(火)

会場：二本松市内小学校16校

(事業内内容)

青年会議所メンバーが子どもたちに少年隊顕彰授業を行います。

授業内容

- ・PPTでの二本松少年隊が戦った戊辰戦争の時代を説明
- ・二本松青年会議所が作成した二本松少年隊紙芝居音声付きスライド映像を使用し、隊士のエピソードを交えて、地域の史実を説明
- ・紙芝居の史実に沿って、PPTで命の大切さと郷土愛について説明
- ・紙芝居後に5～6人でグループになってもらい、グループディスカッションを行い、命について、現在との違いについて、考えていただく
- ・それぞれの班ごとにまとめた内容を発表し、子どもたちに、自身のグループ以外の考えを聞いていただき、郷土愛と命の大切さについて理解を深めていただく
- ・アンケートを行い、二本松の歴史、命の尊さ、地域のためになにができるのか、命の尊厳・郷土愛について学んだことを書いていただき、授業の検証を得ることとなります。

